

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【公開番号】特開2008-265352(P2008-265352A)

【公開日】平成20年11月6日(2008.11.6)

【年通号数】公開・登録公報2008-044

【出願番号】特願2008-193643(P2008-193643)

【国際特許分類】

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成21年3月11日(2009.3.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

インク滴を吐出する複数のドット形成要素が設けられたドット記録ヘッドを有するドット記録装置において、印刷媒体を前記ドット記録ヘッドに対して相対的に動かして搬送し、前記複数のドット形成要素のうちの少なくとも一部を駆動して印刷データに基づくインク滴を吐出し、前記印刷媒体に端部に余白なくドットの記録を行うドット記録方法であって、

前記印刷媒体の搬送方向における下流側の端を第 1 の端、上流側の端を第 2 の端とする場合に、

前記第 1 の端と前記第 1 の端を超える領域とに前記インク滴を吐出して前記第 1 の端にドットの記録を行う工程と、

前記第 2 の端と前記第 2 の端を超える領域とに前記インク滴を吐出して前記第 2 の端にドットの記録を行う工程と、を備え、

前記第 1 の端を越えて前記インク滴を吐出する領域の前記搬送方向における長さが前記印刷媒体の種類に応じて異なるように前記インク滴を吐出する、ことを特徴とするドット記録方法。

【請求項 2】

インク滴を吐出する複数のドット形成要素が設けられたドット記録ヘッドを有するドット記録装置において、印刷媒体を前記ドット記録ヘッドに対して相対的に動かして搬送し、前記複数のドット形成要素のうちの少なくとも一部を駆動して印刷データに基づくインク滴を吐出し、前記印刷媒体に端部に余白なくドットの記録を行うドット記録方法であって、

前記印刷媒体の搬送方向における下流側の端を第 1 の端、上流側の端を第 2 の端とする場合に、

前記第 1 の端と前記第 1 の端を超える領域とに前記インク滴を吐出して前記第 1 の端にドットの記録を行う工程と、

前記第 2 の端と前記第 2 の端を超える領域とに前記インク滴を吐出して前記第 2 の端にドットの記録を行う工程と、を備え、

前記第 2 の端を越えて前記インク滴を吐出する領域の前記搬送方向における長さが前記印刷媒体の種類に応じて異なるように前記インク滴を吐出する、ことを特徴とするドット

記録方法。

【請求項 3】

印刷媒体に端部に余白なくドットの記録を行うドット記録装置であって、  
インク滴を吐出する複数のドット形成要素が設けられたドット記録ヘッドと、  
前記印刷媒体を前記ドット記録ヘッドに対して相対的に動かして搬送する搬送部と、  
前記複数のドット形成要素のうちの少なくとも一部を駆動してインク滴を吐出させる  
ヘッド駆動部と、

前記印刷媒体の搬送方向における下流側の端を第 1 の端、上流側の端を第 2 の端とする場合に、前記第 1 の端と前記第 1 の端を超える領域とに前記インク滴を吐出させて前記第 1 の端にドットの記録を行い、前記第 2 の端と前記第 2 の端を超える領域とに前記インク滴を吐出させて前記第 2 の端にドットの記録を行うと共に、前記第 1 の端を越えて前記インク滴を吐出させる領域の前記搬送方向における長さが前記印刷媒体の種類に応じて異なるように前記インク滴を吐出させる制御部と、

を備えるドット記録装置。

【請求項 4】

印刷媒体に端部に余白なくドットの記録を行うドット記録装置であって、  
インク滴を吐出する複数のドット形成要素が設けられたドット記録ヘッドと、  
前記印刷媒体を前記ドット記録ヘッドに対して相対的に動かして搬送する搬送部と、  
前記複数のドット形成要素のうちの少なくとも一部を駆動してインク滴を吐出させる  
ヘッド駆動部と、

前記印刷媒体の搬送方向における下流側の端を第 1 の端、上流側の端を第 2 の端とする場合に、前記第 1 の端と前記第 1 の端を超える領域とに前記インク滴を吐出させて前記第 1 の端にドットの記録を行い、前記第 2 の端と前記第 2 の端を超える領域とに前記インク滴を吐出させて前記第 2 の端にドットの記録を行うと共に、前記第 2 の端を越えて前記インク滴を吐出させる領域の前記搬送方向における長さが前記印刷媒体の種類に応じて異なるように前記インク滴を吐出させる制御部と、

を備えるドット記録装置。

【請求項 5】

印刷媒体に端部に余白なくドットの記録を行うドット記録装置であって、  
インク滴を吐出する複数のドット形成要素が設けられたドット記録ヘッドと、  
前記印刷媒体を前記ドット記録ヘッドに対して相対的に動かして搬送する搬送部と、  
前記複数のドット形成要素のうちの少なくとも一部を駆動してインク滴を吐出させる  
ヘッド駆動部と、

前記印刷媒体の搬送方向における下流側の端を第 1 の端、上流側の端を第 2 の端とする場合に、前記第 1 および第 2 の端を超える大きさを有する領域に向けて前記インク滴を吐出させると共に、前記第 1 の端を越えて前記第 1 の端から前記領域の端までの長さが前記印刷媒体の種類に応じて異なるように前記インク滴を吐出させる制御部と、

を備えるドット記録装置。

【請求項 6】

印刷媒体に端部に余白なくドットの記録を行うドット記録装置であって、  
インク滴を吐出する複数のドット形成要素が設けられたドット記録ヘッドと、  
前記印刷媒体を前記ドット記録ヘッドに対して相対的に動かして搬送する搬送部と、  
前記複数のドット形成要素のうちの少なくとも一部を駆動してインク滴を吐出させる  
ヘッド駆動部と、

前記印刷媒体の搬送方向における下流側の端を第 1 の端、上流側の端を第 2 の端とする場合に、前記第 1 および第 2 の端を超える大きさを有する領域に向けて前記インク滴を吐出させると共に、前記第 2 の端を越えて前記第 2 の端から前記領域の端までの長さが前記印刷媒体の種類に応じて異なるように前記インク滴を吐出させる制御部と、

を備えるドット記録装置。

【請求項 7】

請求項 3 ないし 6 のいずれか一項に記載のドット記録装置であって、  
前記印刷媒体の種類は、前記印刷媒体の材質に応じて決定される、ドット記録装置。

【請求項 8】

請求項 3 ないし 6 のいずれか一項に記載のドット記録装置であって、  
前記印刷媒体の種類は、前記印刷媒体の寸法に応じて決定される、ドット記録装置。